

## 実施方針の位置づけ

- 宿泊事業を中心とした国立公園利用拠点の面的魅力向上に関する取組を実践するための実施方針。モデル地域とならなかった地域においても、今後の取組推進や、取組進捗中の地域のフォローアップ等、広く活用することを想定。

## 実施方針の骨子案

1. 背景・経緯・現状と課題
2. 目指すべき方向性
  - ・ 国立公園の利用の高付加価値化
  - ・ 官民連携
  - ・ 保護と利用の好循環（サステナビリティ）
  - ・ 宿泊施設と自然体験アクティビティの連携
  - ・ 宿泊施設の役割 等
3. 基本的な方針
  - ①既存エリア・施設の再生・上質化（集団施設地区等の再生）に関する取組方針
  - ②国立公園の魅力を発信する新たな宿泊体験の充実に関する取組方針
4. モデル事業を実施する利用拠点（モデル地域）の選定の考え方
  - ①既存の利用拠点の再整備の場合
  - ②新たな利用拠点の設置の場合
5. 事業の実施プロセス
  - ・ 候補地の抽出
  - ・ モデル事業を実施する利用拠点の決定
  - ・ 宿泊事業者の選定（公募等）
  - ・ モデル事業を実施する利用拠点における取組
6. 事業の推進枠組み
  - ・ 地域の協働体制構築（協議会・実行組織等）
  - ・ マスタープランの策定
  - ・ 利用拠点整備改善計画・自然体験活動促進計画の策定